

宝のえにしに平八幡

(市内にある指定文化財を紹介します)



た やまごよみもっ かつ はん き 田山曆木活版木

所在地：下モ川原44番地
指定年月日：昭和57年3月23日(県指定)

曆が日本に伝えられたのは、西暦554年。朝鮮半島の百濟から渡来した曆博士が伝えたと言われています。この曆は、月の満ち欠けを元に作成した「太陰太陽曆」でいわゆる「旧曆」や「陰曆」と呼ばれている曆です。江戸時代中期に冷害や凶作の被害を受けやすい田山の地で「田山曆」は誕生しました。

最初は手書きでしたが、干支や農具、植物を彫りこんだスタンプ状の木活版木を一枚の紙に一つ一つ押して、読み書きのできない人たちにも年中行事や農業経営の目安となればと発案者の思いが伝わってきます。江戸時代の紀行家やシーボルトもこの曆を「珍しきもの」として江戸市中はもとよりヨーロッパまで紹介しています。明治6年(1873)に明治政府は、太陽曆を採用したことで旧曆は終わりを告げたと思われましたが、近年、明治9年の田山曆が発見されました。時代が変わっても、版元善八の思いは伝わっていたようです。《参考文献》南部絵曆(岩手県立博物館1983年)、だんぶり(八幡秀男著)

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

企業広告スペース

※広報はちまんたい12月2日号(No. 117)の印刷経費は1部61.95円(税込み)です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載【本号】については、(株)岩手広告社(☎019-623-3777)まで。



古紙を配合した再生紙を使用しています